

焼津市指定管理者選定委員長 様

焼津市経済部指定管理者運営評価委員長

山下 敦史

焼津市経済部指定管理者運営評価委員会報告書

施設名	焼津市勤労会館（サンライフ焼津）
事業年度	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
指定管理者	ジェイ・エス共同事業体
担当者	商工観光課（商工政策担当）

委員会報告事項	評価
<p>(概略)</p> <p>令和6年10月30日に本委員会を開催し、令和5年度の焼津市勤労会館（サンライフ焼津）の運営について、指定管理者の事業報告及びヒアリングを経て、審議を行った。</p> <p>(運営状況報告)</p> <ul style="list-style-type: none">令和5年度は5月に新型コロナの5類移行を受け、利用者の増加に向けた運営強化の取り組みを行い、前年度より、利用者と収入が増加し、収支もプラスとなった1年であった。令和5年9月に健康事業を新規オープンし、市内の施設ではまだ設置が少ない酸素 Room を主軸とした機器を導入し、温泉との波及効果を促進し、双方を利用する方が増加した。令和6年3月には2008年リニューアルオープンから16年目で来館利用者数が200万人に達成し、記念セレモニーを開催した。また、当館の認知度向上を目的にJR主催の「さわやかウォーキング」等のイベントにも積極的に参画した。浴室については年間を通して利用者数が増え、ほぼコロナ禍前の水準に戻り11万人を超える結果となった。自主事業についても、自販機では売れ筋商品（明治牛乳自販機の商品）の精査や季節にマッチした商品替え等、臨機応変な品揃えを心掛け、前年比116%増加となった。また、物販においても、全国区で知名度の高くカレーパンが有名な「小麦の奴隷」（清水店）が出張販売を開催する等、収入が前年比104%の増加となった。利用者アンケートについては、「いい風呂イベント」の開催にあわせて実施し、641人の方にご回答いただき、おおむね、「満足」や「ほぼ満足」といった評価をいただいている。著しい物価・燃料高騰の社会情勢を受け、水道光熱費や消耗品、修繕費を中心に支出が膨大に増加する中、館内の照明をLEDに替え、長期を見据え電気料金抑える等の対応をした。以上により、勤労会館の運営について、本委員会として委員全員「適正」であるとの結論に達した。今後もより一層の施設運営向上に努めることを期待する。	適正